

理学研究科 応用数学専攻

人材育成に関する目的

応用数学専攻は、科学技術が急速に進化・変化している現代社会や未来に対応していくために、応用数学の諸分野に関連する高度な知識と教養を有し、論理的思考に基づいて、その知識を柔軟に応用できる人材、及び応用数学の諸分野で自立して独創的な研究活動を行える研究者や専門性の高い教育者を育成する。

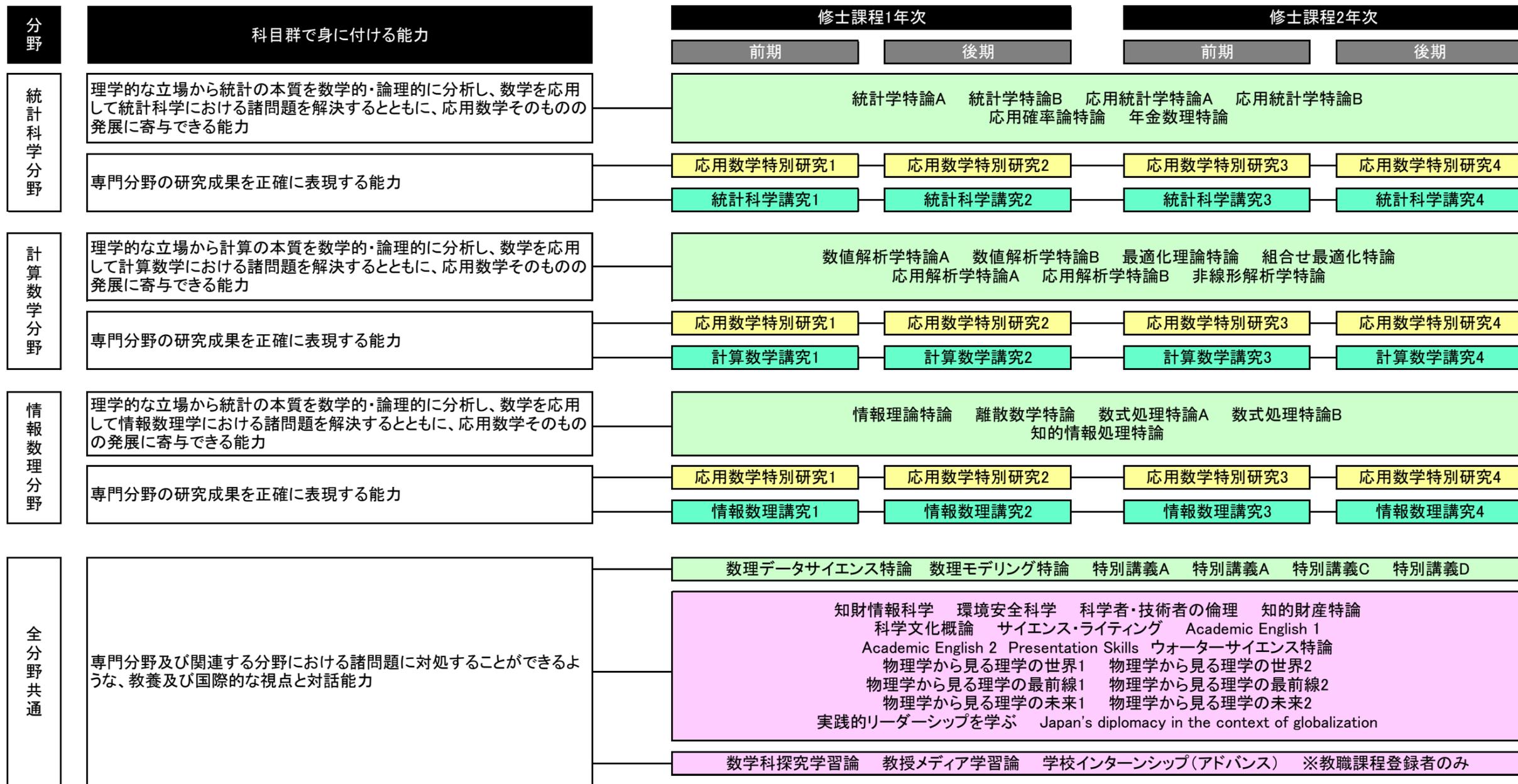
教育課程編成・実施の方針[カリキュラム・ポリシー]

修士課程においては、学士課程で養った教養、基礎学力、専門知識を基礎として、さらに「専門科目」「一般教養科目」「研究指導」により、応用数学の活用能力の育成を実現するための教育課程を編成する。

(1)「専門科目」では、応用数学の幅広い学問領域を横断的に学習・研究することができるよう、特論、演習等の授業科目を重点的・効果的に配置する。

(2)「一般教養科目」では、幅広くかつ深い学識を涵養する授業科目、コミュニケーション能力・倫理観・国際性等を養う授業科目を配置する。

(3)研究指導の過程では、国内外の文献の調査、指導教員等研究者との議論、国内外の学会等での発表、学術論文の発表等を行うことを通して、自身の研究成果を正確かつ効果的に表現する力、専門性を要する研究開発力、及び課題解決力を高め、研究者又は高度職業人として国内外で国際的な視野を持って活躍できる能力を育成する教育を行う。また、2年間の研究成果を修士論文としてまとめる過程で、研究内容を分析・評価・表現する能力を養う教育を行う。



     専門必修科目
      専門選択必修科目
      専門選択科目
      一般教養科目